



W コマンド

この章では、W で始まる Cisco Nexus Virtual Services Appliance コマンドについて説明します。

where

コマンドライン インターフェイス (CLI) 内の現在のコンテキストを表示するには、**where** コマンドを使用します。

where [detail]

構文の説明

detail (任意) 詳細なコンテキスト情報が表示されます。

デフォルト

コンテキスト情報の概要が表示されます。

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、CLI での現在のモードと、そのモードへどのように到達したかを追跡する場合に役立ちます。

例

次に、コンテキスト情報の概要を表示する例を示します。

```
n1010(config-if)# where
?conf; interface Ethernet2/3      admin@n1010%default
```

次に、詳細なコンテキスト情報を表示する例を示します。

```
n1010(config-if)# where detail
?conf; interface Ethernet2/3      admin@switch%default
mode:                               conf
                                     interface Ethernet2/3
username:                            admin
routing-context vrf: default
```

関連コマンド

コマンド	説明
cli var name	端末セッションのコマンドライン インターフェイス (CLI) 変数を定義します。
exit	CLI を終了します。
show cli variables	ユーザ定義の CLI 固定変数を表示します。

write erase

固定メモリ領域内の設定を消去するには、**write erase** コマンドを使用します。

```
write erase [boot | debug]
```

構文の説明	boot	(任意) ブート変数と mgmt0 インターフェイス設定だけが消去されます。
	debug	(任意) デバッグ設定だけを消去します。

デフォルト ブート変数、mgmt0 インターフェイス、およびデバッグ設定以外のすべての設定が永続メモリから消去されます。

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン 情報が破損しているなどの理由で使用できない場合は、**write erase** コマンドを使用して、固定メモリ内のスタートアップ コンフィギュレーションを消去できます。スタートアップ コンフィギュレーションを消去すると、デバイスはブート変数、mgmt0 インターフェイス、およびデバッグ設定を除き初期状態に戻ります。これらの設定は、**boot** オプションと **debug** オプションを使用して明示的に消去する必要があります。

例 次に、スタートアップ コンフィギュレーションを消去する例を示します。

```
n1010(config)# write erase
Warning: This command will erase the startup-configuration.
Do you wish to proceed anyway? (y/n) [n] y
```

次に、永続メモリからブート変数と mgmt0 インターフェイス設定を消去する例を示します。

```
n1010(config)# write erase boot
```

次に、固定メモリ内のデバッグ設定を消去する例を示します。

```
n1010(config)# write erase debug
```

関連コマンド	コマンド	説明
	copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションをスタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。
	show running-config	スタートアップ コンフィギュレーションを表示します。

